

## 第2次男女共同参画計画素案への意見を募集

本市における男女共同参画に関する施策を推進するため、「第2次大綱白里市男女共同参画計画」の策定を行ってまいります。

計画の素案がまとまりましたので、皆さんの意見を募集します。

▼閲覧・意見募集期間 10月7日(水)～20日(火)

▼閲覧場所 市ホームページ、地域づくり課、本庁舎受付、政情報コーナー、白里出張所、中部コミュニティセンター

▼意見提出方法 任意の様式に住所、氏名、電話番号、意

## ごみの減量化にご協力をお願いします

市では、ごみの減量化に向けて、リサイクル回収倉庫の設置や、廃食用油の回収、生ごみ袋の肥化装置に関する設置費用の補助、資源ごみの集団回収に対する奨励金制度などを実施しています。

▼リサイクル回収倉庫  
市内3か所の公共施設内(市役所、中部コミュニティ

▼利用時間 8時30分～17時(年末・年始を除く)

▼回収品目 ①新聞紙(チラシを含む)、②雑誌、③衣類、④ダンボール、⑤飲料用紙パック、⑥コピー用紙、⑦雑がみ

▼廃食用油の回収  
家庭から出る使用済み天ぷら油などの廃食用油を回収し

ています。一度こしてから、ペットボトルに移し替えて回収箱に入れてください。

▼回収箱設置場所 市役所、中部コミュニティセンター、白里出張所

▼利用時間 8時30分～17時(年末・年始を除く)

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

市役所、中部コミュニティセンター、白里出張所)にリサイクル回収倉庫を設置して、新聞紙や衣類などを回収しリサイクルしています。

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

リユース情報コーナー  
市役所玄関ロビーに、「リユース情報コーナー」を設置しています。使わなくなったものを譲ったり、譲ってもらったりする場です。地域づくり課にて申請ができますので、ごみとして捨ててしまう前にぜひ一度ご利用ください。

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

## こちらは消費生活センターです!

### まだまだ多い物干しざおの移動販売トラブル

#### 〈事例〉

物干しざおが古くなったので、車で近所を回っていたさおだけ屋を呼び止めた。値段を聞くと「ニーキュッパ」だというので、2,980円だと思いきや2本注文した。業者が長さを測って切った後、59,000円を請求してきた。1本29,800円だった。切ってしまった後なので断れないと思いきや、仕方なく支払った。

#### 〈ひとことアドバイス〉

物干しざおの移動販売に関する相談が依然として寄せられています。2本で1,000円等と安価な価格で呼び掛けながら、正確な販売価格を伝えず、高額な代金を請求するケースが多く見られます。購入前に「1本〇〇円」と明確な販売価格を確認しましょう。領収書が渡されない、渡されても連絡先がでたらめで連絡がつかない等、返金交渉が

困難なケースも見られます。納得できない場合はお金を支払わないようにしましょう。

無理やり支払いを求められた場合は、周囲の人や警察に助けを求めましょう。車のナンバーを記録しておくのも良いでしょう。

契約の取り消しが可能な場合もあります。困ったときは、早めに消費生活センター等にご相談ください。

〈参考資料：国民生活センター見守り新鮮情報第369号(国民生活センター報道発表資料より)〉

#### ◆市消費生活センター

▶相談日時=祝日を除く(月)・(火)・(水)・(金)10時～12時、13時～16時

▶会場=中央公民館1階相談室

▶相談電話=0475(70)0344  
☎地域づくり課市民協働推進班 0475(70)0342

## 協働のまちづくり通信

### ◆第3回市民セミナー

▼日時 10月25日(日)13時30分～15時30分

▼会場 保健文化センター3階ホール

▼内容 「地域への再生可能エネルギー導入」に向けた講演会と討論会

▼講師 飯田 哲也氏(環境エネルギー政策研究所長)、鈴木 大介氏(小田原市ほうとくエネルギー(株)取締役)

▼募集人数 80人(事前申込制。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日の参加

人数は、一度こしてから、ペットボトルに移し替えて回収箱に入れてください。

▼回収箱設置場所 市役所、中部コミュニティセンター、白里出張所

▼利用時間 8時30分～17時(年末・年始を除く)

※中部コミュニティセンターは、休館日は利用できません。

生ごみはたい肥化させると、有機肥料として活用できます。また、庭木のせん定枝等は、細かく破碎しウッドチップに

して、家庭菜園や花壇にまくことができます。市では、これらのたい肥化装置等(コンポスト等)の購入費用の一部を助成しています。

▼対象機器 コンポスト容器・発酵たい肥化装置・機械式処理機・家庭用小型せん定枝破碎机

▼助成金 購入額の2分の1(20,000円を上限として、100円未満は切り捨て)

※申請方法等は問い合わせください。

◆資源ごみの集団回収への奨励金

▼奨励金 1kg当たり3円

ごみの減量化には、皆さんの協力が不可欠です。リサイクルできるものはリサイクルする、生ごみの水切りを徹底するなど、減量化にご協力をお願いします。

☎地域づくり課環境対策班 0475(70)0386

### ◆特定非営利活動法人リンクより

①ひきこもり家族の集い

▼日時 10月5日(月)13時～15時

▼会場 中央公民館講堂

▼講師 阿部 達明氏(ひきこもり家族会カウンセラー)

▼募集人数 先着10人程度

▼対象 ひきこもりの家族を抱えた方、支援者

▼参加費 無料

②第一回大綱白里市住民協働事業市民公開講座

「ひきこもり状態にある方に私たちができること」背景・理解・アプローチ

▼日時 10月16日(金)13時30分～15時

学校や子ども会、自治会等が資源ごみを団体に回収し、業者へ売り渡した場合に、その団体に対して奨励金を交付しています。

▼対象 紙類・布類・ビン類・カン類

▼奨励金 1kg当たり3円

ごみの減量化には、皆さんの協力が不可欠です。リサイクルできるものはリサイクルする、生ごみの水切りを徹底するなど、減量化にご協力をお願いします。

☎地域づくり課環境対策班 0475(70)0386

## 住宅用省エネルギー設備等設置費の補助

住宅用省エネルギー設備等を設置した方に、予算の範囲内で設置費用の一部を補助します。対象の方は申請してください。

▼申込締切 令和3年3月4日(木)

※市役所閉庁日を除きます。

※予算額に達し次第締め切り

▼対象  
・太陽光発電システム  
(最大出力1kW当たり2万円 上限9万円)

・定置用リチウムイオン蓄電システム(上限10万円)

一定の要件を満たした太陽光発電システム等を設置した住宅(本市内の区域内の住宅であって、居住部分の面積が2分の1以上である併用住宅を含み、賃貸住宅・集合住宅を除く)に自ら居住し、本市

## 地域包括支援センターだより

### ～高齢者への虐待～

高齢化が進んでいる現在、高齢者虐待の問題が深刻となっています。全国の年間相談通報件数は約3万2千件、虐待認知件数は約1万7千件を超え、過去最高となっています。高齢者虐待では介護を行っている人が不適切な対応を行ってしまっている場合があります。身近に起こりうる問題として把握し、誰もが安心して生活できる地域づくりを目指しましょう。

#### ◆こんな状況に見覚えありませんか

- ・いつも同じ服を着ている
- ・髪の毛が伸びきっている
- ・急に痩せたり、脱水症状が見られたりする
- ・お金が無くなっていると訴えがある
- ・家から大声や大きな音が聞こえる
- ・介護をしている家族が疲れている

部屋に鍵をかけられて出られないようになっている  
趣味の活動や集会などに参加しなくなってしまった  
郵便物が溜まったまま放置されている  
高齢者虐待は、どこの家庭でも起こりうる身近な問題です。介護の大変さや認知症に対する理解を深め、身近な問題として関心を持つことが大切です。

高齢者や家族のちょっとした変化やサインに気づき、地域の人々で支え合うことが虐待の早期発見、防止につながります。気になることや不明なことがありましたら、お気軽にご相談ください。  
☎地域包括支援センター 0475(70)0439

※そのほかにも要件がありますので、必ず申請前にご確認ください。

の住民基本台帳に記録されている方であること。  
②対象となる太陽光発電システムの設置に係る着工日が、令和2年4月1日以降であること(太陽光発電システム等の設置工事に着工する前日までに建築工事が完了していること)。  
③世帯全員が市税を滞納していないこと。

☎地域づくり課環境対策班 0475(70)0386

▼会場 保健文化センター3階ホール  
▼講師 平田 智子氏(千葉市ひきこもり地域支援センター)  
※講座終了後に個別相談会を予定。先着3組。  
▼申込方法 氏名・住所・年齢を電話・ファクスまたはメールにて事前に申し込み  
☎0475(72)5439  
☎0475(72)5452  
info@npo-link.jp

※参加費 無料  
※新型コロナウイルス感染症拡大のため、内容を変更・中止等の場合があります。事前に確認ください。